

| 番号 | 質問・意見 | 理事会からの回答 |
|----|--|---|
| 1 | <p>「三カ年方針の終了期にあたって」の資料、大変わかりやすかったです。ありがとうございます。こういった図式化されたイメージとして捉えやすい資料は、僕のような実際の活動に参加できてない距離の遠い人間にも伝わりやすいんだなと感じました。ぜひこういった技術を社会に対しても引き続き展開していただければ、きっと社会と個人を変えていくの期待しています。前向きな展開を見せていただきた喜びになりました。これからも応援しています。</p> | <p>いつもご支援いただきありがとうございます。資料についてもコメントいただき大変うれしいです。活動メンバー内でもぜひ共有しながら、発信していきたいと思えます。</p> |
| 2 | <p>オリエン参加者は思ったより印象を受けましたがそこからサポーターになるを含め何かしら少しでも関わる人はどれくらいでしょうか？せっかく興味を持ってくれた人なのでもっと巻き込める方法はないのかと思います。今後に活かせる前向きな方策をぜひ考えて下さい。活動報告で計画していきなかつたこと、力もあつたが、それは今後に活かしつつも、それ以上のできたこと、力をかけたけど思つたより成果の出なかつたことをレビューして今後より良い活動を作つてくれれば良いと考えます。頑張ってください。</p> | <p>ご意見いただきありがとうございます。まず、オリエンテーションについては、2023年度は事務局に加えて、ESGウォッチプロジェクトメンバーの一人との二人体制が功を奏し、お蔭様で数多くの申し込みがありました。一方で、オリエンテーション参加から活動メンバーへのステップアップについては、理事会としても一つの課題と捉えており、まさに現在検討を進めているところです。具体的には、募集スキームの改善（activeほかボランティア募集プラットフォームのさらなる有効活用、広報文のブラッシュアップ等）や、活動体として専門的な側面も大きいESGウォッチプロジェクト以外の新たな活動の場（事業計画にてご紹介した「サステナビリティ・cafe（仮）（通称：サステナカフェ）」等）の創出などを考えています。</p> |
| 3 | <p>何も動けていなくて、本当に申し訳ないですが、今こそ、国際的な視点のあるA SEED、若者の参加を期待できipledge、ローカルや現場感のあるezorockの3者がタッグを組んで、お互いの強みを生かせる連携体制づくりをめざせないうか願っています。何から始めればいいのか、わからないうけれども、相談させてください。</p> | <p>ありがとうございます。ぜひ一緒に、連携体制について考えていけると嬉しいです。活動メンバーの若手層も、対外的な活動や外部との交流機会を増やしていきたいという意識も高まっているので、ちょうど良いタイミングだと感じています。</p> |
| 4 | <p>意見としては、会員数が激減していること、助成金頼りで収入がないことが心配です。何かできることがあれば協力します。どうぞよろしく願います。</p> | <p>いつもご支援いただきありがとうございます。2024年度は助成金頼りではない運営体制の確立を目指して、新規事業による資金調達などにも挑戦していきたいと思えます。ご相談させていただくこともあるかと思いますが、引き続きよろしくお願いたします。</p> |
| 5 | <p>頑張ってください！</p> | <p>温かい応援メッセージ、ありがとうございます！</p> |